



心の鏡をのぞくと

いつもより短い23日間の夏休みが終わり8月24日(月)に2学期がスタートして9月になりました。始業式では、全校生徒が一堂に顔を合わせて集会をすることができず、パソコンの画面でリモートにより行いました。廊下や階段ですれ違う生徒の姿は、マスクをつけているので顔半分しか見えません。でも、元気よく「おはようございます」といつでも挨拶してくれる生徒がいます。私も元気が出て「おはようございます」の声が大きくなります。そして「いつもありがとう・・・」と話しかけました。挨拶をしてくれた生徒の穏やかな目の表情で心の内が見えます。コロナ禍で何かと暗い話題がつきまとう社会情勢ですが、いつでも明るい挨拶ができる生徒の皆さんに励まされて、心がさわやかになる毎日です。

さて、「倍返し」の怪物という外国の寓話を要約して紹介します。ある村に恐ろしい怪物がいました。村と外を結ぶ道をふさぎ、困った村人が強力な武器で攻撃しても、その2倍の力で攻撃を返すという不思議な力を備えていました。最初の若者は、棍棒で立ち向かいましたが、その2倍の大きさの攻防で攻撃を返されました。2番目の若者は炎で攻めましたが、その2倍の熱さの炎が返ってきました。

この様子を見たある若者は、意外な方法で怪物に挑みます。彼が行ったのはリンゴと水でした。彼がリンゴを1つ、怪物に与えると怪物はリンゴを2つくれました。次に、水を1杯、怪物に飲ませると、水を2杯くれました。さらに彼がニッコリ笑ってみせると、怪物も笑顔を2度返してくれました。やがて人々は悟ったのです。接し方次第で、怪物は災いにもなり、恵みにもなるということ・・・。

という話ですが、皆さんは、この話から学べることはありますか。言い換えれば、何を教訓としますか？

私は、次のように解釈します。

怪物は、相手のとった行動をそのまま2倍にして返していますが、「この世の中も同じようなものですよ」と言いたいのではないかと思います。つまり、社会では、良いことも悪いことも、自分がやったことは自分に返ってくるということです。

道を歩いていて、すれ違う人に「こんにちは」と挨拶をすれば「こんにちは」と挨拶が返ってきます。しかし、無視すれば無視されますし、にらみ返されます。このように鏡に映すように行動します。

このような行動を心理学では「ミラー効果」あるいは「鏡の法則」と言います。まさに、「他人は自分の鏡」です。自分の周りに人を見れば、自分がこれまで人に何をしてきたかが、まるで鏡を見るかのようによくわかります。人が笑いかけてくれないのは、自分が笑いかけていないから。人が話を聞いてくれないのは、自分が人の話を聞いていないから。人が助けてくれないのは、自分が人を助けていないから。そういう場合がよくあります。

私たちは、何か悪いことの原因を他人のせいにする前に、一度自分の行動を見つめ直す必要があると思います。何もせず、周りの人が機嫌をとってくれるのは、赤ん坊のときだけです。成長するにつれ自律しなければなりません。

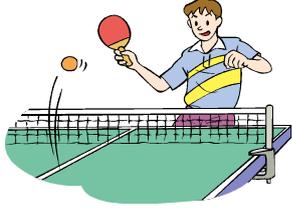
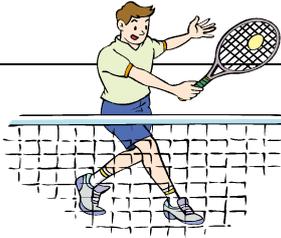
新型コロナウイルス感染症は未だ終息せず、今後においても「With コロナ」の生活が続いていくものと思われまます。このような社会情勢になったことを誰かのせいにしても何も進みません。教育活動の実施にあたっては、感染症予防対策を固めることはもちろん、心のケアにも十分配慮するなど子供たちが安全かつ安心して通うことができるように全力で努めてまいります。保護者の皆様にもこのような時にこそ、お子様に明るい声で話しかけていきましょう。

残暑が続いていますが、周りの自然は、私たちの生活の変化に合わせて、不思議と急激に変化しています。「暑さ寒さも彼岸まで」と言いますが、うだるような暑さも秋分の日(9月22日)を境にして、大気もジメジメしたうっとうしいものから、スキっとした、まさに「秋」にふさわしいものへと変化していくような気がします。過ごしやすく「実りの秋」となる2学期も教育活動へのご協力をお願いいたします。



部活動・生徒活動の記録

(敬称略)

卓球部	第58回練馬区中学校生徒総合体育大会（3年生代替大会） 女子団体の部 優勝 男子団体の部 第3位 女子シングルス 第2位 田邊 咲 さん 第3位 新村 心椰 さん 第5位 小野 未琥 さん 第5位 本橋 乃々華さん 第5位 堀 桜子さん	
硬式テニス部	練馬区中学校テニス選手権大会 女子団体 準優勝 男子団体 第3位	
硬式テニス部	練馬区テニス新人大会 男子シングルス 優勝 加藤 侑くん 女子ダブルス 優勝 大島・松下ペア 準優勝 馬籠・永谷ペア 第3位 成田・宮内ペア	
バスケットボール部	練馬区バスケットボール三年生引退大会 男子の部 優勝 女子の部 準優勝	
バレーボール部	練馬区中学校バレーボール夏季代替大会 優良賞	

「目的」と「目標」

新型コロナウイルスの感染症拡大で目標とする夏の部活動大会やコンクールが中止となりました。しかし、練馬区では各競技部顧問の先生方が集まり、コロナ対応の徹底を図り、「今、生徒のために何ができるか」を真剣に考えながら代替大会を安全に開催することができました。そして、選手の皆さんが最後まで全力でプレーしている姿に感動しました。保護者の皆様にはご心配をおかけしましたが、大会運営に対するご理解とご協力をいただき深く感謝いたします。

「最後の夏」に都大会や関東大会を目指していた3年生の生徒たちが目標を失った落胆は大きかったと思います。しかし、ある運動部のキャプテンは「今までの練習や体験は無駄ではない。必ずプラスになると信じています」と自分の将来に向けての考えを述べていました。しっかりと目標を設定して、達成できるように頑張ってきた努力は立派です。今後も自分の目標に向かいチャレンジしてほしいです。

ここで、部活動をやる目的は何なのか考えてみます。「目的」と「目標」という言葉は、似ていますが意味が違います。「目的」は、最終的に達成されるゴールです。「目標」は、その目的に迫るための通過点です。目的に迫るためには、いくつか目標を立てて、一つひとつ達成することが必要です。たとえ一つの目標が達成できなくとも、目的がしっかりしていれば、別の目標から目指すこともできるでしょう。3年生の皆さん、今度は進路に向かって頑張っていきましょう。

「開校60周年記念・航空写真」

8月28日（金）午前

開校60周年を記念し、全校生徒で校章の人文字を作り、空から写真を撮りました。

当初は7月に予定していましたが、2回とも雨天だったため、今回は3度目の正直ということになりました。とても暑い日となりましたが、全員で協力して短時間で終了することができました。

青色と黄色のボードを頭の上に掲げて用意していると、ヘリコプターが上空を旋回して写真をとりました。きっと美しい校章マークが出来上がったと思います。

